

一般質問発言通告書

発言順位	8番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 19 番 岡田 美喜子

質問事項 1	ひきこもりへの相談体制について
具体的内容	
<p>内閣府は今年3月31日、2022年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」の結果を公表している。ひきこもり状態にある人は、15～64歳では国民の約2%にあたる約146万人と推計している。そのうち、2割が新型コロナウイルスの流行がきっかけであるとされている。</p> <p>ひきこもりとは、仕事や学校に行かず家にこもっている状態で、具体的には病気などを除き、趣味や用事の時だけ外出する、近所のコンビニなどには出かける、自室からは出るが家からは出ないなどの状態が6か月以上続いた場合、ひきこもりと判断される。</p> <p>8050問題は、経済的に困窮してしまう場合や、暴力や無理心中などの事件につながってしまう恐れもあり、大きな社会問題となっている。</p> <p>三島市のひきこもり者と同居の家族の支援はどのように行われているのか伺う。</p>	
1 ひきこもりの現状把握と課題について	
2 相談者への対応状況について	
3 ひきこもり者及び同居する家族に対する支援はどのようなものがあるか。	
4 ひきこもり者の課題によって連携機関が異なることから、ワンストップ型の常設相談窓口を設置できないか。	
質問事項 2	「思いやり運転」交通安全対策について
具体的内容	
<p>内閣府は今年6月、令和5年度版交通安全白書を公表している。令和4年度中の交通事故発生件数は30万839件で、18年連続で減少しているが、交通事故死亡者数の高齢者が占める割合は56.4%と依然高い状況にある。また、10年間ですべての死亡重傷事故件数が4割減少しているのに対し、自転車関連事故は3割減にとどまっている。</p> <p>三島市においては、令和3年度から令和7年度を計画年度とする第11次三島市交通安全計画が策定されている。交通安全意識の高揚・高齢者の交通事故防止・交通マナーの向上、交通環境の整備等、どのような状況にあるのか取り組みを伺う。</p>	
1 本市の交通事故発生状況と内訳について	
2 高齢者の免許返納事業の現状と移動手段等の取り組みについて	
3 交通安全意識の高揚・高齢者の交通事故防止・交通マナー向上の取り組みについて	
4 矢羽根型路面標示等、交通環境の整備について	
5 「思いやり運転」の取り組み状況について	
6 交流人口の増加に伴い、交通量の増加等による事故が懸念される。レンタカー事業者等を通じて「思いやり運転」の取り組みをPRし三島市から発信してはどうか。	